

福井循環器病院連携通信

(財)日本医療機能  
評価機構認定病院



福井循環器病院は、  
(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることを  
証する認定証の交付(平成25年1月18日付)を受けています。

2014.1  
第10号

理念

私たちは いついかなる時も  
自分たちの持てる力を 充分に発揮し  
最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み  
患者さんに豊かな人生を 提供いたします



2014年新しいステージへのご挨拶

院長 大橋博和



2014年私どもの病院はさらに新しいステージに入って、「機能化と連携」という地域医療支援病院の根本精神に基づき、使命を果たして参りたいと考えておりますので、諸先生方のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

(1) 植込み型人工心臓の施設基準の条件を満たしましたので、既に2013年10月に関係機関に施設認可の申請書類を提出し、2014年早々に認可がおりる見通しとなりました。これによって最重症の心不全に対してもなお対応可能な状態となり、北陸初の施設として機能を発揮したいと考えております。

(2) 2014年夏までにハイブリッド手術室を建設し、経カテーテル的に大動脈弁を置換する手術を開始する予定となりました。通常の開心術が不可能なハイリスクの患者さんであっても大動脈弁狭窄症に対しては極めて強力な治療手段をもつことになり、全く新しい世界が開けてくるものと期待をしております。

またこれら新しい手術のみならず、2013年末までの統計では当院循環器科で行われた経皮的冠動脈形成術のロータブレード(超高速回転のドリルによる冠動脈の狭窄部分の解除)においても、施行件数204件のうち152件、実に75%が院外の施設からの依頼でした。

新しい年2014年、私どもはさらに循環器専門病院としての機能を発揮し、地域医療に貢献したいと考えておりますのでよろしくお願ひを申し上げます。

福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00  
土曜 8:30~13:00  
TEL:0776-54-5761(直通)  
FAX:0776-54-5977(専用)  
E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは  
下記番号までお願い致します  
TEL:0776-54-5660(代表)  
FAX:0776-54-5977(時間外外来)

循環器内科医雑感 一過去・現在・未来一 福井循環器病院

【はじめに】私がこの病院で働きだしたのは、昭和63年(1988年)でちょうど創立20周年記念パーティーが開催されたことを覚えています。すでに25年が過ぎ去ったこととなりますが、あと5年後に50周年を迎えることとなります。この間病院の建て替え、電子カルテの導入など様々なことがありました。当院は諸先輩方の甚大なる努力により現在の地位を築いていますが、これからも地域に根差した「頼りがいのある病院」でありたいと思います。

【当院の現状】図1に冠動脈造影(CAG)、経皮的冠動脈形成術(PCI)及び冠動脈バイパス術(CABG)の推移を示します。1984年~2012年の29年間でCAGは32,299例、PCIは7,437例施行しております。PCIとCABGの比は3:1から4:1です。全国的にも評価される数字と思いますが、残念ながらともにも2006年をピークに減少傾向にあります。しかし2013年度は11月末時点で昨年の数字を超えています。これからは冠動脈疾患のみならず末梢動脈疾患に対するインターベンション治療や不整脈に対するアブレーション治療なども今まで以上に積極的に取り組みたいと思います。

図1:冠動脈造影、経皮的冠動脈形成術、冠動脈バイパス術の推移(1984~2012)



【CPAOA】(図2~図4)急性心筋梗塞(AMI)の死亡率はCCUの発達や、迅速なカテーテル治療(PCI)の進歩により年々減少しておりどの施設も5%~10%であります。しかしながらこの数字は病院にたどり着いた症例からの数字であり、実際は病院にたどり着く前に亡くなる症例も多数あると思われ、AMIの真の死亡率は未だにかなり高いものと思われます。ここでは自験例の一部を紹介させていただきます。

1987年1月から2009年12月末までに当院に入院したAMI症例3,028例(男性2,196例、女性832例)のうち来院時心肺停止(CP AOA)状態であった86例(平均年齢68±12歳、男性64例、女性22例、全AMI症例の2.8%)を対象としました。1)AMI発症から当院入院までに要した時間は平均137±143分。29例(34%)に心筋梗塞の既往あり。心破裂11例(13%)。2)8例(9%)が生存退院したが、残り78例(91%、総死亡406例に対する割合は19%)は死亡。3)心肺停止に陥った場所は自宅24例(28%)、外出先10例(12%)、前医13例(15%)、搬送中38例(44%)。4)生存例8例の入院時心電図は心室細動(Vf)3例、無脈性電気活動(PEA)2例、心静止(asystole)1例、洞調律(sinus)2例で、そのうち2例に冠縮性狭心症(VSA)の既往あり。5)入院時心静止であった症例は59例(68%)と最も多く認められたが1例を除き他は全例死亡。6)35例(41%)が過去に冠動脈造影を受けており、0枝病変8例(9%)、1枝病変5例(6%)、2枝病変5例(6%)、3枝病変14例(16%)、左主幹部病変3例(3%)。7)50例(58%)が前医からの搬送症例であるが、入院前に血栓溶解剤を投与された症例は2例(3%、ともに死亡)のみ。8)2011年度の福井県全体における心肺停止者数(心原性以外も含む)は767例であり、そのうち心拍再開率は6.6%、1か月生存率は2.9%であった。

AMI由来のCPAOA症例は予後不良であるが、前医または搬送中に心肺停止に陥る症例が多いことから、今後さらにプレホスピタルケアの充実が必要であると思われま。

図2:心臓破裂剖検例



図3:AMIとCPAOAとの関係

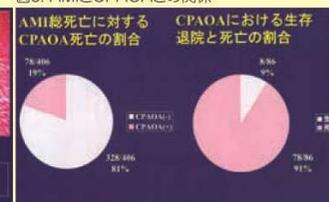
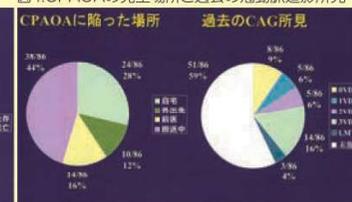


図4:CPAOAの発生場所と過去の冠動脈造影所見



循環器内科 守内郁夫



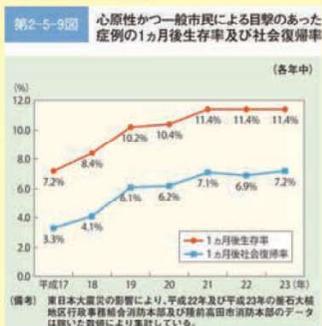
【終わりに】我々は以前より「あなたは愛する人を救えますか?」のキャッチフレーズのもとに福井県AED普及啓発協議会(福井県医師会主催)の一般市民に対するAED普及啓発講習会に参加、協力させて頂いております。平成24年版消防白書からも心原性心臓停止症例におけるバイスタンダーおよびAEDの効果は明らかであり(図5、図6)、今後も継続的な普及活動をしていきたいと思っております。

## 平成24年版 消防白書

図5:心原性心臓停止症例におけるバイスタンダーの効果(平成24年版消防白書)



図6:心原性心臓停止症例における除動の効果(平成24年版消防白書)



## 福井循環器治療懇話会

この懇話会は当院に紹介を頂いている先生方と循環器疾患の治療について情報交換の場を持ちたいと考え、2000年から福井循環器フォーラムとして8回、2008年から福井循環器懇話会として5回開催しております。毎年、当院に赴任した循環器科医師の紹介を兼ねて最近の症例や研究を発表し、呼吸器科からは先生方に有益な情報を提示し、特別講演として県外近隣の講師を招聘しております。昨年は、循環器科からlong stentingの院内成績、冠動脈インターベンション治療におけるOCTの有用性、呼吸器科から県内の睡眠医療の現状を報告しました。特別講演には愛知医科大学の天野哲也先生に“予後を改善するPCIを目指して一過適薬物療法併用の重要性”と題して講演を頂きました。毎年12月上旬に開催しておりますので参加の程宜しくお申し込み申し上げます。

循環器科 主任部長  
地域医療連携室 室長  
大里和雄



## 新任医師の紹介

谷口 智史先生  
平成15年 京都府立医科大学 医学部 卒業  
心臓血管外科・小児心臓血管外科  
11月から福井循環器病院で勤務させていただいておりますが、ようやく最近環境にも慣れてきたところです。  
まだまだ皆さんにご迷惑をおかけすることと思いますが宜しくお願いします。



## 患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには次のような権利が保障されます。

- 個人としてその人格を尊重される権利**  
患者さんが、ひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。
- 良質で高度な医療を公平に受ける権利**  
患者さんは、どなたでも平等かつ公平に、良質で高度な医療を継続して受ける権利があります。
- 十分な説明を受ける権利**  
患者さんは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)と情報を受ける権利があります。
- 自己決定の権利**  
患者さんは、説明と情報提供を受け、充分理解・納得された上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利、あるいは拒否する権利があります。
- 選択の自由の権利**  
患者さんは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 情報の開示を求める権利**  
患者さんは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- プライバシーの保護と秘密を保持される権利**  
患者さんは、病院内でのプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

患者さんには、良質で安全かつ効率的な医療の提供を受けて頂くために次のことをお願いいたします。

- ご自身の健康に対する正しい情報の提供と医療への積極的なご参加
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたさないためのご協力
- 療養上、必要な制約を受けることへのご理解

## 地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血圧センター

## 福井循環器病院

〒910-0833 福井市新保2丁目228番地  
TEL.0776-54-5660(代)

- ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>
- E-メール [heart-hospital@fcvc.or.jp](mailto:heart-hospital@fcvc.or.jp)

## 診療案内

### 診療科目

循環器科・心臓血管外科、消化器科、呼吸器科、内科、外科、小児科、眼科、リハビリテーション科、小児外科、麻酔科、内分泌科(糖尿病)

### 診療指定

保険医療機関、国保医療取扱機関、労災指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、原爆被爆者一般疾患医療機関、救急告示病院

### 保険診療届出事項 (基本診療料の施設基準)

- 一般病棟入院基本料 (7対1入院基本料)
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算
- 医師事務作業補助体制加算 (75対1補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算 (50対1)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 栄養管理実施加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算2
- 退院調整加算
- 救急搬送患者地域連携紹介受入加算
- 特定集中治療室管理科1
- データ提出加算
- 入院食事療養(Ⅰ)